

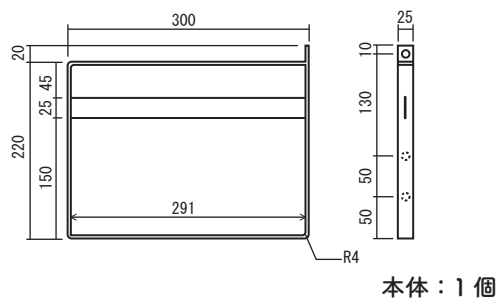
この度は当社の商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
施工前に施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

注意事項 ※必ずお守りください。

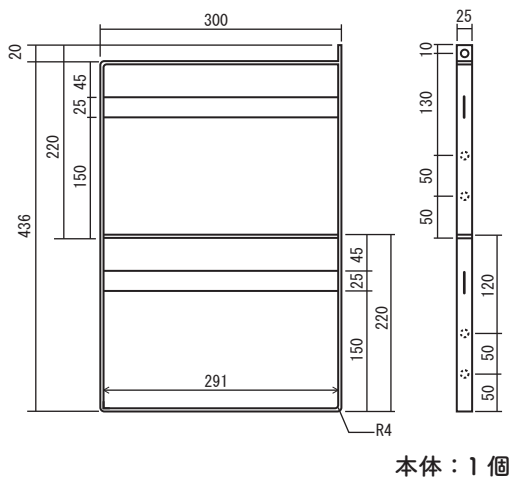
- 本製品は屋内専用製品です。浴室等湿潤な場所や、温度差が大きくなる場所、屋外での使用はおやめください。
- 乗ったりぶら下がったりすると、製品や壁が破損・脱落してケガの原因となりますのでおやめください。
- ブラケットは柱や間柱など、木製の下地材がある場所へ固定してください。脱落の原因となる恐れがあります。下地材のある場所に取り付けられない場合は、同梱の「石膏ボード用アンカー」を使用してください。
- 金具と棚板は必ずビスで固定してください。落下の恐れがあります。
- 耐荷重を超えてものを載せると製品や壁が破損したり、脱落の原因となりますので、耐荷重をお守りください。
- 物を載せる際は、荷重はできるだけ分散し、集中荷重・衝撃荷重は避けてください。

部品内容

ウォールシェルフブラケット
口の字



ウォールシェルフブラケット
日の字



その他

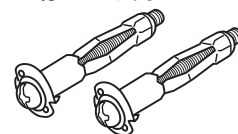
「壁面固定用ビス」
サイズ：Φ4×45



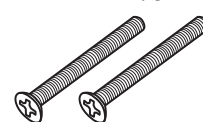
「棚板用ビス」
サイズ：Φ4×16



「石膏ボード用アンカー」



「アンカー用ネジ」



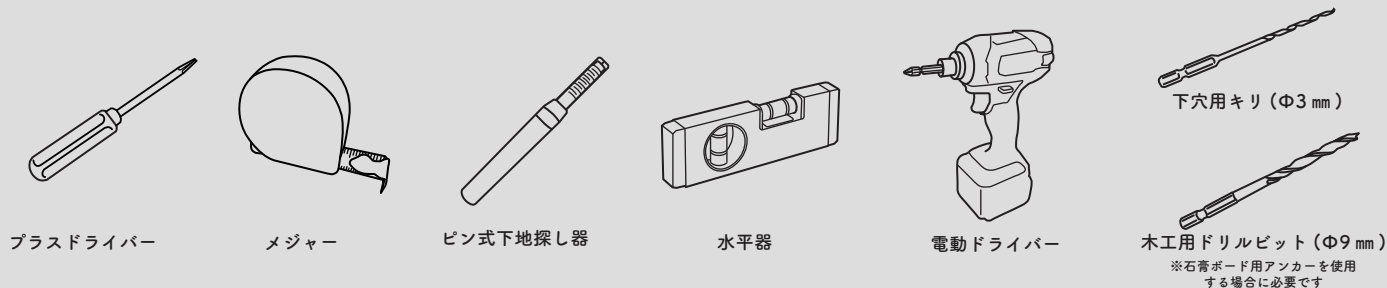
「同梱品」

- ・ウォールシェルフブラケット 口の字
- ・壁面固定用ビス … 4本
- ・棚板用ビス … 5本
- ・石膏ボード用アンカー … 4本
- ・アンカー用ネジ … 4本

「同梱品」

- ・ウォールシェルフブラケット 日の字
- ・壁面固定用ビス … 6本
- ・棚板用ビス … 7本
- ・石膏ボード用アンカー … 6本
- ・アンカー用ネジ … 6本

必要な工具

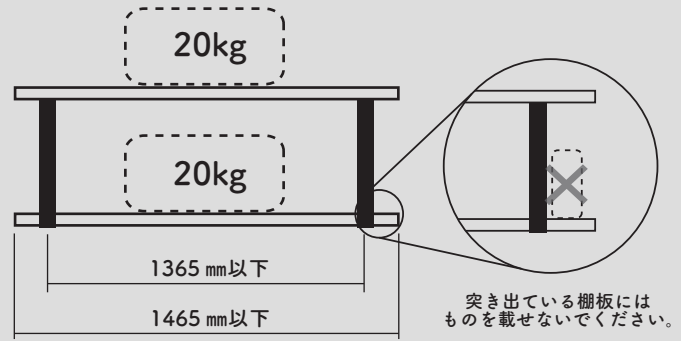


耐荷重について

種類	口の字	日の字
耐荷重（下地あり）	20 kg	30 kg
耐荷重（下地なし） ※付属アンカー使用	10 kg	15 kg

※石膏ボードは厚み 10 mm～16 mm のものに対応しております。
※ブラケット 1 個当たりの耐荷重です。

●口の字の場合



施工手順

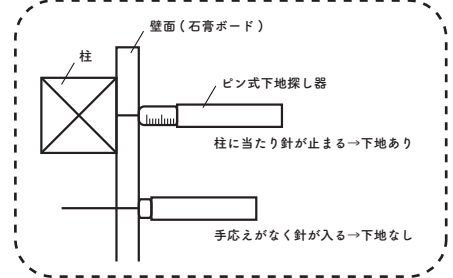
1、下地材探し

まずは取付け位置の下地の有無を確認します。

間柱等の下地の有無に関しては、右図のような市販の「ピン式下地探し器」や「下地センサー」などを用いて下地の有無をご確認ください。

壁面が石膏ボードのみの場合、同梱の石膏ボード用のアンカーを使用してください。
※石膏ボードへの施工の場合、柱につけた場合の半分の耐荷重になりますので、ご注意ください。

一例（壁面が石膏ボードの場合）

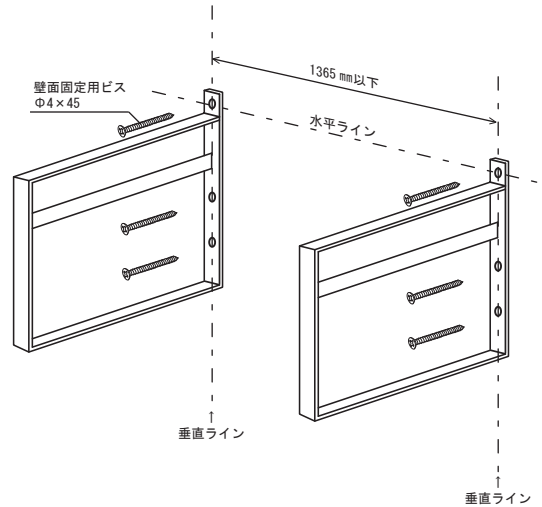


2、位置だし

下地が見つかり、取付け位置が決まったら、実際に固定するビスの位置に印を付けます。

使用する棚板の厚みに合わせて、高さの位置を出してください。
高さが決まったら、ブラケットが垂直であるかを水平器で確認し、ビス穴の部分に印をつけてください。

ブラケットの間隔は 1365 mm 以下にしてください。



3、ブラケットの固定

ビスを打つ前に、下穴用キリで下穴をあけてください。（Φ3 mm 程度）
下穴に合わせ、再度ウォールシェルフブラケットを壁にあてがい付属の壁面固定用ビスで、固定していきます。

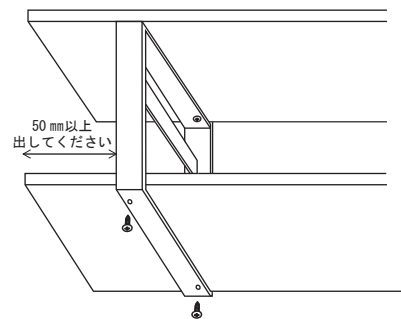
下地にしっかりと固定されていることを確認してください。

4、棚板の固定

ブラケットが固定出来たら、棚板を固定していきます。

ブラケットに棚板を差し込み、両端が均等になるように調節します。
位置が決まったら、電動ドライバーを使い、付属の棚板用ビスで棚板を固定します。

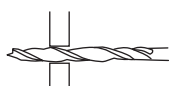
電動ドライバーが使いにくい場合は、棚板に下穴をあけてから、手動ドライバーを使い固定してください。



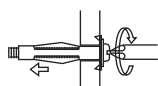
！石膏ボード用アンカーの使用法

壁面固定のビス位置の印のところに、Φ9mm の下穴をあけてください。その下穴に石膏ボード用アンカーを爪が完全に刺さるまで押し込み、さらにねじを時計回りに回します。ねじを回して抵抗を感じたら止めてください。

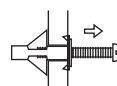
※アンカーを回しすぎると、アンカーの効きが弱まる可能性があります。ご注意ください。



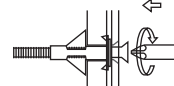
①下穴をあけます



②アンカーを差し込み締めます



③ねじを取り外します



④ブラケットを取り付けます